

The Beat★Rush

ビートルズのライブは こんな風だった!

The Beat★Rush 略歴

元は「ジ・アスプレイズ」として2005年にスタート。

2008年には、ビートルズのふるさと、イギリス・リバプールで行われた「インターナショナル・ビートルウィーク」に、日本代表として参加。

世界中のビートルズファンが「インターナショナル・ビートルウィーク」を論評するサイト「TheWord Is Love」で、アスプレイズの「Cry for aShadow」が3位を獲得。

さらに、ジ・アスプレイズのリング・スター「あんちゃん☆」が「ベストドラマー」3位を獲得。同、2008年には単独でイギリス・ロンドン公演も成功させている。

2009年「インターナショナル・ビートルウィーク」(注1)に2年連続で参加。

2008年の演奏実績が評価され、2009年は特別に選ばれた13バンドだけが演奏できるメイン会場での演奏や、更にはたった7バンドしか演奏することのできない、数万人の観客動員を誇る野外ステージでの演奏も大成功をおさめる。

更にはアメリカ製作のビートルズ・トリビュート・バンドを追っかけた映画「COME TOGETHER」にビートルズトリビュート世界最高峰のFABFOUR、1964TRIBUTE、AMERICAN INGLISHと共に共演している。

ジ・アスプレイズは足掛け2年のビートルウィーク中にこの映画撮影の為にロケを行っている。

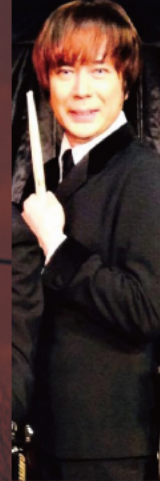
この映画の撮影は日本でも行われた。映画COME TOGETHERは2011年全米公開。こうして多くの人に知られる事となる。

「ジ・アスプレイズ」としての活躍が世界中に知れ渡る事になった結果、イギリス、ロンドンにある「アスプレイ宝石店」より著作権の侵害との報告が入る。

現在もロンドンに実在し、「英国皇室御用達」としてイギリスでは有名なジュエリーショップ。

世界中にその名を知られた事により、バンド名を変えなくてはならないという皮肉な結果になってしまったのと同時に、ジョージ役の交代も重なり「The Beat★Rush」と改名。

*注1 「インターナショナル・ビートルウィーク」毎年、世界各国から集まった約100バンドが参加するという、大きなイベント。世界中のビートルズコピーバンドがリバプールに集まり、街中のライブハウスやホール等で演奏するイベントで、毎年このイベントを楽しむ為に世界中から30万人以上のビートルズファンが押し寄せる。このイベントで演奏するには、事前に厳しい審査があります。



究極のこだわりを持った4人がビートルズのサウンドとパフォーマンスを完全再現!

メンバーはそれぞれ別のビートルズコピーバンドで高い実績を積んできております。首都圏をメインに全国規模で活動を展開中です。

The Beat★Rush こだわり



ビートルズの曲をただ演奏するだけではなくビートルズ本人が着ていた衣装をそっくり再現したフルオーダー衣装(タイトなスーツなど多数)からセンターシームのブーツ髪型にいたるまで深く追求し楽器もビートルズが使っていたものと同じビンテージ楽器を使用、ギターの弾き方ドラムの叩き方本人のクセまでも忠実に再現する「見せるバンド」です。

オーディエンスに「ビートルズを疑似体験してもらう」事をポリシーに活動しています。



ビートルズの最後の映画「レット・イット・ビー」の後半に映るロンドンの「アップルビル」の屋上で行った、その名も「ルーフトップコンサート」をビート★ラッシュが忠実に再現、撮影、公開したのが2020年の12月。

これはのちにNHK放送局の全国版にも数回に渡り放送されました。

そして2021年5月、なんとポール・マッカートニーご本人と奥様のナンシーさんがロサンゼルスに別荘に休暇に訪れた際にリビングルームでビート★ラッシュのルーフトップコンサートの映像を見たのです。

ポールは最初パロディー動画と思っていたそうですがガチな映像にびっくりしてなんと最後まで20数分間、全てを見てくれました。

そしてナンシーさんはビデオを見ながら踊っていたそうです。

そしてベースのダメ出しまで頂けたそうで、こんな素晴らしい事はありません、良くも悪くもダメ出しを頂けるなんて光栄すぎますよね。

これはポールの側近のスタッフさんからのお話なので紛れもない事実です。

ご本人も見てくれた貴重なビデオとなりました。